

兵庫県受動喫煙防止条例：急性冠症候群に対する長期効果

中井陸運（宮崎大学医学部・国立循環器研究センター）、岩永善高（桜橋渡辺病院・国立循環器研究センター）他12名 統括責任者：藤原久義（兵庫県立尼崎総合医療センター・大隈病院）

兵庫県受動喫煙防止条例（包括的ではなく、部分的法的規制*）が2013年4月に我が国では神奈川県について2番目に施行されました。受動喫煙の包括的法的規制が急性冠症候群（ACS；急性心筋梗塞および不安定狭心症）発症を、施行直後から減少させることは欧米の研究で報告されています#。しかしこれらは施行後数年という短期間の観察研究で、長期間の研究はほとんどありませんでした。そこで、我々は兵庫県受動喫煙防止条例のACS発症に対する長期効果について、わが国の循環器疾患に関するビッグデータ JROAD-DPC**を用いて検討し、以下のことを明らかにしましたので報告します。

1. 兵庫県受動喫煙防止条例施行後 ACS 入院患者数の減少が神戸市で長期的に見られた。一方、兵庫県の他地域および大阪市（条例制定のないコントロール）では長期的にも ACS 減少は見られなかった 図

兵庫県の中での効果の違いは、神戸市の条例に対する認知度・徹底度が他地域より高かったことによると思われる##。従って部分的受動喫煙防止の法的規制がACS減少効果を持つか否かは、制定初年度の条例に対する認知度・徹底度により決まり、以後同じ状況が長期に持続する。すなわち導入初年度の法的規制の認知度・徹底度が重要である。

2. 神戸市のACS入院患者減少は冠動脈疾患リスクファクターのある喫煙群・高血圧群脂質異常症群では見られず、禁煙群\$、非高血圧群、非脂質異常症群で観察された）表

この違いはACSのリスクファクターを持たない人の方が、持つ人より健康志向が強く、条例に鋭敏に反応し、受動喫煙を避ける行動をしたためと推測され、検討課題である。

*：誰でも利用できる公共の場での受動喫煙防止の法的規制は、喫煙場所の設置可等の例外規定のある部分的法的規制と例外規定のない包括的法的規制に分かれる。

#：部分的法的規制下では、以前我々が兵庫受動喫煙防止条例の短期効果をみた研究（Circ J 2016; 80: 2528-2532）で報告したように地域差（ACS減少は神戸市ではあり、他地域では見られない）が生ずる。

**：JROAD-DPC：日本循環器学会によるDPCデータを用いた循環器疾患診療実態調査
DPC：厚労省の入院患者診断群分類

##：我々の以前の研究では、神戸市の飲食店は他地域（尼崎市）と比較し、条例認知度並びに禁煙店の割合が高かった（Circ J 2018; 82: 1852-1857）。

\$：包括的受動喫煙の法的規制によるACS減少効果が喫煙者と比較し、非喫煙者で顕著なことはすでに欧米から報告がある。

論文題名：Long-Term Follow-up Study of Hospitalizations for Acute Coronary Syndrome in Kobe-City and Other Districts Under the Hyogo Smoking Ban Legislation — A Nationwide

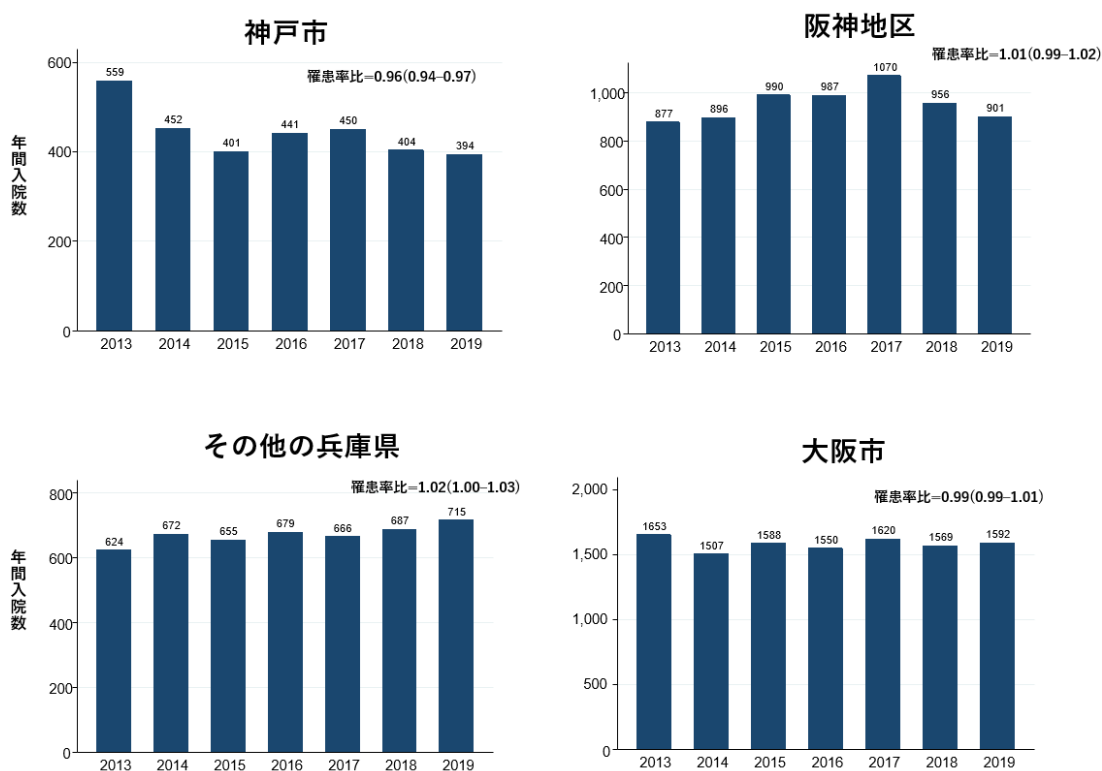
Database Study —

著者名・所属：Michikazu Nakai, PhD; Yoshitaka Iwanaga, MD, PhD; Yoko Sumita, RN; Tetsuya Amano, MD, PhD; Ikuo Fukuda, MD, PhD, DrEng; Tomoyasu Hirano, PhD; Mami Iida, MD, PhD; Kota Katanoda, PhD; Yoshihiro Miyamoto, MD, PhD; Masakazu Nakamura, MD; Keijiro Saku, MD, PhD; Takahiro Tabuchi, MD, PhD; Hiroshi Yamato, MD, PhD; Bo Zhang, PhD; Hisayoshi Fujiwara, MD, PhD

雑誌名：Circulation Journal <https://doi.org/10.1253/circj.CJ-23-0191>

図：神戸市・阪神地区・その他の兵庫県・大阪市による年間 ACS 入院患者数の推移

ACS 減少は神戸市のみで観察される。



表：神戸市における ACS 減少と冠動脈疾患リスクファクターの有無

ACS 減少は禁煙群、非高血圧群および非脂質異常群で見られる。

	罹患率比(95% 信賴区間)	P 值	交互作用 P 值
喫煙群	1.03 (0.99–1.06)	0.132	<0.001
禁煙群	0.92 (0.90–0.95)	< 0.001	
高血压群	0.98 (0.95–1.00)	0.104	0.001
非高血压群	0.94 (0.91–0.96)	< 0.001	
糖尿病群	1.00 (0.97–1.04)	0.766	0.246
非糖尿病群	0.94 (0.92–0.96)	< 0.001	
脂質異常症群	1.02 (0.99–1.05)	0.063	<0.001
非脂質異常症群	0.89 (0.86–0.91)	< 0.001	